

PBLガイドブック（高校版）Webサイト 実践事例報告書

1 学校名（ 岡山県立玉島商業高等学校 ）

2 教科（ 商業 ） 科目（ 課題研究：SDGs講座 ）

※総合的な探究の時間の実践例ではない場合は、教科・科目名等を記入してください。

3 実施学年（ 3年 ）

4 事例の概要（いずれかに（複数でも可）に○をしたのち、その概要を記入してください。）

1 課題の設定	○	5 まとめ・表現	○
2 情報の収集	○	評価、進路指導に関するもの	
3 整理・分析	○	その他（ ）	
4 課題解決に向けた実践	○		

・令和4年度 高校生発！「木のぬくもり実感」事業への取り組み
… 商品開発やワークショップ開催等の学習を行う県立高等学校等の生徒が、県産森林認証材を活用し、小中学生を対象としたものづくり教室や県産森林認証材を活用した商品開発を行うことで、県民が県産森林認証材に触れる機会を創出するとともに、県産森林認証材のPRにつなげる。

5 ねらい

・一連の探究活動に取り組みさせることにより、生徒に自主性・協調性・創造力・コミュニケーション能力・課題解決能力等を養わせる。
また、県産森林認証材を活用したものづくり教室（ワークショップ）や商品開発を通して、若い世代も含めた幅広い世代に向けて、県産森林認証材に触れる機会を創出するとともに、県産森林認証材のPRにつなげる。

6 工夫点

・備中玉島みなと朝市（毎月第2日曜日開催）で、地域の小中学生を対象とした県産森林認証材を活用したものづくり教室（ワークショップ）を開催した。
・ブレインストーミングさせ、普段の学校生活や日常生活で使える商品を開発させた。

7 苦労した点（課題をどのように解決したか）

・ものづくり教室の開催を12月11日（日）の備中玉島みなと朝市会場とし、8月より地元の協力企業と打合せを始めた。
・ものづくり教室は親子で参加してもらい、スツールを製作し、本校生徒はサポートをすることとした。事前準備として、実際にスツールの製作を行った。
・ものづくり教室のチラシを地域の4小学校の全児童分作成し、配布を行った。
・ものづくり教室の募集方法を往復はがきとした。
・商品開発については、上記スツールの端材を有効活用するものとした。